

| | |
|----------------------------------|---|
| 研究課題名 | B型慢性肝疾患におけるペグインターフェロン α 、エンテカビルまたはテノホビル・シソプロキシルフマル酸塩、テノホビル・アラフェナミドフマル酸塩開始後の肝発癌に関する前向き研究 |
| 研究の意義・目的 | 本研究はB型慢性肝疾患の患者さんの中でペグインターフェロン α 、エンテカビルまたはテノホビル・シソプロキシルフマル酸塩、テノホビル・アラフェナミドフマル酸塩の治療を受けられる方に協力いただいて治療経過を観察し、データベースをつくり、その抗ウイルス治療による発癌抑制効果を評価して、今後のB型慢性肝疾患治療に役立てることを目的としており、肝臓学会や日本消化器病学会の中でも取り上げている重要な課題です。また、本研究はStanford University Medical Center（アメリカ合衆国）との共同研究です。 |
| 研究を行う期間 | 機関の長の実施の許可日 ～ 2030年12月 |
| 研究協力をお願いしたい方（対象者） | 2015年12月～2030年12月に大阪公立大学医学部附属病院の肝胆膵内科で、B型慢性肝疾患の治療のため受診された方が対象となります。 |
| 協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目 | 診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。 試料：血液 診療情報等：病歴、診断名、年齢、性別、身長、体重、肝組織所見、既往歴、治療歴、検査データ、超音波画像、CT画像 |
| 試料・情報の他機関への提供 | この研究はStanford University Medical Center（アメリカ合衆国）・Division of Gastroenterology and Hepatologyへ頂いた情報を提供します。その際は、特定の個人を識別できない形で提供します。 |
| この研究を行っている共同研究機関 | Stanford University Medical Center（アメリカ合衆国）・Division of Gastroenterology and Hepatology 研究代表者：Mindie H. Nguyen |
| 試料・情報を管理する責任者 | 大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 研究責任者：小塚立蔵 多機関共同研究機関 Stanford University Medical Center（アメリカ合衆国）・Division of Gastroenterology and Hepatology 研究代表者：Mindie H. Nguyen |
| 本研究の利益相反 | 研究実施分担者の河田則文は、ギリアド・サイエンス株式会社から講演料を受領しています。利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 |
| 研究に協力をしたくない場合 | 下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。 |
| 連絡先 | 大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 （担当者氏名）小塚 立蔵 電話番号：(06) 6645-3905 メールアドレス：rkozuka@omu.ac.jp |